

農委だより



▲ 農業委員辞令交付式

◀ 農地最適化推進委員委嘱状交付式

就任のあいさつ



行方市農業委員会

会長 高塚 利英

日頃より、農業委員会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、市議会の同意を頂き市長より19名の農業委員が任命され、改正農業委員会の2期目がスタートします。その総会に於いて、委員の皆様より推挙賜り会長の職を務める事となり、責務の重大さを痛感し身の引き締まる思いであります。農業委員会が委嘱をしました16名の農地利用最適化推進委員の皆様とともに微力ではありますが、力を合わせて行方市農業の発展に寄与して参りたいと思っております。

さて、本市の農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化、担い手不足による耕作放棄地の増加や、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化で農産物の価格の低下、特に米価の下落は大変厳しい経済状況下にあります。関係機関に対策をお願いしなければなりません。

これから5年、10年先を見据えて、意欲ある農業者が継続的に、また安心して経営が行えるよう、農地中間管理機構による農地の集積・集約化、新規就農者の促進のサポート、地域の現状を考える「一人農地 プラン」の実質化の取り組み等も農業委員会の必須業務となります。関係機関とともに農家の皆様のご意見を頂きながら、課題の解決に向け取り組んで参りますので、なお一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

農地の売買・貸借・転用などの農地法申請の〆切は毎月 10 日です

農業委員

氏名（議席番号順）、
住所地、通算期別

①  矢幡 幹守 行方（1期）	②  谷田川 栄 矢幡（1期）	③  近藤 芳子 内宿（1期）	④  茂木 孝 中根（1期）
⑤  橋本 清 白浜（2期）	⑥  平塚 実 新宮（2期）	⑦  横瀬 忠美 山田（2期）	⑧  古渡 武文 玉造甲（2期）
⑨  内藤 宏一 八木蒔（2期）	⑩  本澤 政雄 小貫（2期）	⑪  風間 啓次 芹沢（3期）	⑫  根本 正義 行戸（3期）
⑬  小沼 正二 麻生（3期）	⑭  大久保 正一 小幡（3期）	⑮  郡司 正彦 井上（4期）	⑯  椎名 勇 井貝（4期）
⑰  高塚 利英 手賀（4期）	⑱  根崎 和枝 若海（4期）	⑲  清水 量 内宿（5期）	<ul style="list-style-type: none"> ●会 長 高塚 利英 ●会長職務代理者 椎名 勇 ●農地部会長 根本 正義 ●農政部会長 小沼 正二 ●農地部会長職務代理者 風間 啓次 ●農政部会長職務代理者 本澤 政雄

麻生地区	
担当農業委員	調査区域
小沼 正二	麻生地区全域
谷田川 栄	太田地区全域
平塚 実	小牧板峰・新宮・ 天掛・籠田・ 四鹿杉平
橋本 清	蔵川・青沼・ 岡・宇崎・白浜
矢幡 幹守	行方地区全域
椎名 勇	小高地区全域

北浦地区	
担当農業委員	調査区域
茂木 孝	吉川・繁昌・ 中根
横瀬 忠美	山田
根本 正義	行戸・南高岡・ 北高岡
大久保 正一	小幡
近藤 芳子	両宿・内宿・次木
清水 量	三和・成田・ 長野江
本澤 政雄	小貫

玉造地区	
担当農業委員	調査区域
郡司 正彦	玉川地区全域
高塚 利英	手賀地区全域
古渡 武文	玉造地区全域（加茂・ 緑ヶ丘区を除く）
根崎 和枝	加茂・捻木・ 若海・谷島
風間 啓次	緑ヶ丘・芹沢・ 中山・上山
内藤 宏一	立花地区全域

新体制がスタートしました

任期満了に伴い、農業委員19名が改選され、行方市長職務代理者から任命されました。辞令交付後、総会が開催され、各役員が選任されました。

また、農地利用最適化推進委員16名が高塚会長より委嘱されました。任期は令和6年9月1日までの3年間です。

これから3年間、農業委員と農地利用最適化推進委員が一体となり、農地利用の最適化の推進に取り組み、本市の農業振興のために活動してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

農政部長あいさつ

小沼 正一

この度の改選に伴い委員の皆様方に推薦をしていただき農政部長という大役をお引き受けし、職務の重大さを痛感し身の引き締まる思いであります。現在の農業情勢は担い手不足や高齢化の進行による労働力不足、米価の下落など様々な問題が山積であり、課題も多くあります。今後、農地利用の集積、集約化を進め「人・農地プラン」の実質化を進めていきたいと思っておりますので、皆様方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

農地部会長あいさつ

根本 正義

農地部会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。農業委員は、農政、農地法と現場を調整する役職であると思えます。総選挙も終わり農政の継続と企業の参入、再エネの増設等が加速すると考えられます。行方の農地需給は、甘藷の市況が堅調な事から担い手が元気で需要がやや上回っていると思えます。しかし、条件の悪い田畑については耕作放棄地になっているのも現状です。新規就農者は若干増えているものの、今後、後継者のいない高齢の担い手がリタイアすると、担い手の負担は益々重くなっていくと思われまます。これからの担い手は企業化または、企業の経営感覚を持つ必要があると思えます。農業委員として農地の集積を進め、全力でサポートしたいと考えておりますのでご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

農地利用最適化推進委員

氏名（担当地区順）、住所地

麻生地区



深澤 泉
麻生

太田地区



平山 正
根小屋

大和地区



内山 市也
四鹿

大和地区



宮内 正美
岡

行方地区



箕輪 澄子
行方

小高地区



森山 正一
島並

津澄地区



石間 信一
繁昌

要地区



日下 正之
小幡

要地区



吉田 正弘
南高岡

武田地区



大原 富士男
長野江

武田地区



横田 俊信
小貫

玉川地区



鈴木 喜昭
荒宿

手賀地区



野原 賢一
手賀

玉造地区



川島 隆道
玉造甲

現原地区



石田 充春
芹沢

立花地区



関口 順一
浜

◎農地のご相談は、各地区の農業委員・農地利用最適化推進委員までお問い合わせください。

農業委員会活動報告

- 6月7日 いばらき農業委員会女性協議会第1回役員会
21日 農業委員会行方地域協議会理事会
25日 第6回総会、農地部会、農政部会
第1回農地利用最適化推進委員選考委員会
29日 農業振興地域整備促進協議会
30日 茨城県農業会議通常総会
茨城県農政活動推進本部代議員総会
7月8日 第2回農地利用最適化推進委員選考委員会
14日 農地の集積・集約化推進大会
20日 農地パトロール（麻生・行方地区）
21日 農地パトロール（小高・太田地区）
26日 第7回総会
28日 農地パトロール（武田・要地区）
29日 農地パトロール（津澄・要地区）
30日 農地パトロール（玉川・手賀地区）
8月2日 農地パトロール（玉造・現原・立花地区）
3日 農地パトロール（大和地区）
茨城県への要望書提出
26日 第8回総会、農地部会
9月2日 第9回総会
17日 農業委員タブレット研修会
27日 第10回総会、農地集積・集約研修会
10月7日 農業委員会行方地域協議会理事会
20日 令和3年度市町村農業委員会会長・事務局長会議
25日 第11回総会、農政部会、農地部会、広報委員会
11月1日 農業振興地域整備促進協議会
5日 いばらき農業委員会女性協議会第3回役員会
令和3年度関東ブロック女性農業委員等研修会
11日 広報委員会
農地パトロール（麻生・太田・行方・小高地区）
15～18日 農地パトロール（大和・津澄・要・武田・玉川・手賀・玉造・現原・立花地区）
25日 第12回総会、農業委員会行方地域協議会研修会

事業予定

12月23日 第13回総会

なめがた新規就農活力応援補助金

○交付要件

令和3年度新規就農された方で次の条件を満たす方

- ・市内において農業経営を行う方
- ・年間農業従事日数が200日以上見込める方
- ・年齢が55才未満の方
- ・農業経営改善計画の認定申請を行う方
- ・農業次世代人材投資資金（経営開始型）の支給対象者でない方

○応援金の額

30万円（※同一人につき1回限り。）

<問い合わせ>

行方市農林水産課（北浦庁舎）

Tel.0291-35-2111



全国農業新聞

農家の経営とくらしに役立つ情報が満載！

- 発行日 毎週金曜日（月4回）
- 購読料 月額700円
（農協・銀行口座振替可）
- 申込 農業委員会事務局またはお近くの農業委員まで

国民年金 掛金手積立年金

加入条件

- 国民年金第1号被保険者の方
- 年間60日以上農業に従事の方
- 60歳未満の方

特徴

- ・保険料は全額社会保険料控除の対象
- ・35歳未満で一定の要件を満たす方は、最大1万円の補助

※詳しくは、農業委員会事務局またはJAなめがたしおさい各支店までお問い合わせください。

委員長 根崎和枝
副委員長 平塚実
委員 古渡武文
委員 横瀬忠美

広報委員会

（広報委員長 根崎和枝記）

農地の事で何か疑問がありましたら、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局、農林水産課にご相談ください。

私たち農業委員の役割は、農地を守る事です。微力ながら推進委員とともに、耕作放棄地の解消、地域農業振興に向けて活動していきます。

編集後記

朝夕の寒さが身にしみ、今年も残り一か月となりました。農業委員会は新制度による新体制となり、二期目の活動が始まりました。

コロナ禍で農業、農村を取り巻く影響も感じられています。今までにない米価の下落、野菜等の価格変動、出入国の難しい外国人技能実習生など様々な問題があると思います。